

1人ひとりが輝く舞台!七夕ミュージカル開幕!



演劇ファミリー Myu ユースプロジェクト
『COLORFUL SHINE THEATER』

しもだ
下田 あすか さん

「同年代のメンバーと作品創りをするのはわくわくする」と語る下田さん

みの〜れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.107

風薫る五月。やさしい風にゆれるモッコウバラ、茎をピンと伸ばしたジャーマンアイリス。水田には水が張られ、水鏡に映った青空や若葉の緑が輝いて綺麗だなんて思います。ケロケロとカエルたちも鳴きはじめました。曆の上では初夏なんですよ。今回は、みの〜れ住民劇団演劇ファミリーMyuのメンバーで7月公演のミュージカル『Twinkle☆Twinkle』天の川にかいたほくの夢』でメインキャストを務める小美玉市堅倉地区にお住いの下田あすかさん取材します。

昨年よりも パワーアップ!

下田さんにとってのMyu初舞台となる作品は、みの〜れ10歳記念公演『未来ロケット』。初参加の作品だったので、比較の出番が少ないダンスアンサンブルとして舞台に立ちました。参加したきっかけについて下田さんはこう話してくれました。「ダンスを10年習っていて、同じダンス教室のメンバーでMyuのメンバーでもある新井晴香さんに声をかけてもらってMyuの作品に出演しました」

それから、下田さんはミュージカルに興味を持ち、昨年上演した『Twinkle☆Twinkle』天の川にかける願い』にキャストとして参加しました。「ダンスだけでなくセリフや歌も多かったので凄く緊張しました。心臓はバクバクだし、口はカピカピに渴いて大変でした。ただ、終わった時は演じきった達成感や仲間と作品を創りあげた充実感でとても

幸せな気持ちでした」と笑顔で当時を振り返ってくれました。

そして今作も引き続きキャストとして臨んでいます。前作では男勝りの女の子役だった下田さんでしたが、今回は本物の男の子役。さらになんとメインキャストです。「今回はまるつきり男の子役なので、歩き方や口調に気を付けないといけないですね。なぜか・あすかちゃんやランドセルが似合ってる違和感がないよね」って言われるんです。(笑) 今回はダンスよりも演技中心で長いセリフが多い役です。とにかくいつでもどこでも台本を読んで家で一人でもどこのを隠しながら覚えていきます。今回は2日に渡っての公演なので1日目が終わって、次の朝セリフが全部飛んでしまったらどうしようかと心配です。だから一分一秒を無駄にしないように集中して稽古に臨んでいます」と下田さん。

共演するメンバーについて、下田さんは「ダンスアンサンブルの子も、キャストの子も同世代が多く、お互いがもともと知り合っていたという子もいるので稽古場はいつもとっても賑やかです。でも、みんな稽古が始まると表情が

一変。一人一人が『より良い公演をお客様に見てもらいたい』という思いを共有し、集中して稽古をしています。今回は私がメインキャストという立場なので頑張らなきゃ!と思っています。作品については観てのお楽しみですが七夕の時期にぴったりの、わくわくしたり、ドキドキしたり、ほろっとしたりと素晴らしい舞台になっています」と話す下田さんは生き生きとしていました。

そして、今作はMyuの新たなプロジェクト、その名も『COLORFUL SHINE THEATER』のメンバーが中心となり、作品をプロデュースしています。こちらは10代後半から20代の若手が主体的に舞台創りに取り組むプロジェクトです。当時小学生だった子供達が、今では中心核として子供達の憧れとなり、役者だけでなく振付やスタッフとして活躍しています。そんな彼女らが創り出す若さ溢れるパワフルなミュージカルをぜひ皆様もご覧ください。

(藤田佐知子)